

ピックアップ! ビジネスパートナー 発注開拓レポート

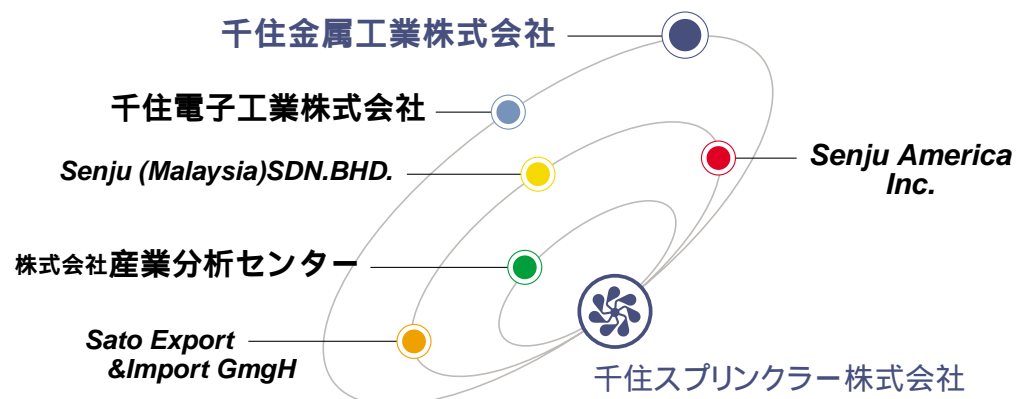


千住スプリンクラー株式会社

千住スプリンクラー株式会社としての創業は昭和49年4月。その前身である株式会社千住鉛工場(その後、千住金属工業株式会社に名称を変更)の創業から数えれば、60年余りの業歴を誇っている。現在の主力製品であるスプリンクラー生産を本格的に開始したのは、前身の千住金属工業株式会社が、国内で初めて「消火装置用スプリンクラーヘッド」の開発に成功。その後も、感熱部圧縮型スプリンクラーヘッド、埋込型スプリンクラーヘッド等の開発に成功している。この間、昭和43年には、当時わが国初の高層ビルである霞ヶ関ビルに当社の製品が採用された実績もある。このように技術開発に力を注ぎ、生産体制を強化した結果、現在スプリンクラーヘッドの国内シェアは75%を占めるまでに成長している。昭和50年5月には、現在の柴宿工場で操業し、スプリンクラーヘッドの生産を開始した。その後、東山町の働きかけなどもあり、平成2年7月には丸森工場を操業し、スプリンクラーの生

産を移し、柴宿工場はバルブの生産のみになっている。今や両工場とも、主力の生産拠点になっている。不況が続く中、新規住宅等の着工件数は伸び悩んでおり、スプリンクラーの需要も漸減傾向にある。この現状に対応するため、輸出を増やすことにより需要の拡大を検討している。輸出の対象となる製品は、ロットが大きく量産効果も期待できるものとなっている。県内企業が生産もしくは加工可能なものは極力県内企業に発注するという方針のもと、現在、県内企業に外注している生産・加工分野は、鋳造、旋盤切削、自動盤切削、樹脂成形、塗装等になっている。また、現在、特に協力を必要としている生産・加工分野はクロムメッキである。今後、量産が可能な輸出用製品の生産量が増加してくれば、これに比例して外注量も増加していくことが期待される。

SMICグループ企業体



関連バルブ製品



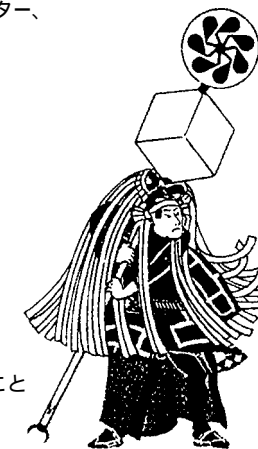
スプリンクラーヘッド



会社概要

設立: 昭和49年4月
 資本金: 8,000万円
 代表者: 代表取締役社長 佐藤 一策
 従業員数: 140人(うち岩手2工場105人)
 所在地: 本社; 東京都足立区千住橋戸町23番地
 岩手丸森工場; 東磐井郡東山町長坂字丸森86-1
 岩手柴宿工場; 東磐井郡東山町長坂字柴宿88-2
 関連会社: 千住金属工業(株) 産業分析センター、千住電子工業(株)ほか
 電話番号: (岩手丸森工場) 0191-47-3388
 ホームページ: <http://www.senjusp.com>
 購買(外注)状況
 メッキ加工(クロムメッキ)
 鋳物(FC, FCD)
 シェル鋳物(BC6)
 旋盤加工(細物)

受注先企業に対する要望
 加工精度向上、短納期化、コストダウンに努めること
 不具合の撲滅



ISO 9001 認証